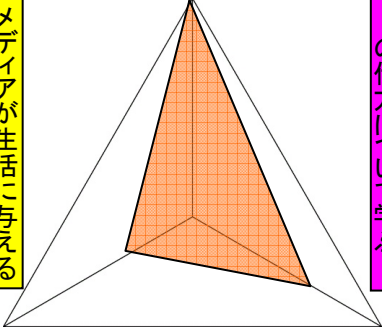


パッケージ名	「先生トイレ」はどうして通じるの？ （小学校3～4年，1単位時間）	
実践のねらい	・日常のコミュニケーションの中では省略を使っていることを知る。 ・省略した文や単語だけの表現がどうして伝わるのか、その背景を考える。	
この実践のメディアについて学ぶ	<div data-bbox="213 309 608 376" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div> <div data-bbox="197 412 580 741" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="156 412 220 696" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> メディアが生活に与える影響について学ぶ </div> <div data-bbox="571 412 660 696" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方について学ぶ </div>	実践の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○想定する子どもの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ言葉を獲得し、限られた社会の中で生活してきた子どもたちは、省略のある表現を当然のように感じている。 ・省略した表現が通じるのは共通の前提条件があるということに気づいていない。 ○パッケージの目標 <ul style="list-style-type: none"> ・その多寡にかかわらず、ほとんどの表現においては省略を伴うこと、それを効果的に用いていることに目を向けさせる。 ・コミュニケーションの中の省略では、相手によってその範囲が異なることを考える能力を培う。 ○留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・共通の前提条件や認識が違くと省略可能な部分が異なることを知らせる。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. 「先生トイレ」に隠されている言葉を考える(15分)

- **隠れている言葉を見つける**
 - 受 改めて考えると文になっていないということに気づく。
通常の文にすると、どのような文になるのか、考えて補う。

配布物: ワークシート

II. さらに隠れている、隠せる言葉を考えて楽しむ(10分)

- **言葉になっていないけれど伝わる、ということも含めて考える**
 - 表情や身振り手振りがついた場合にはさらに情報が付加されることを知る。
- 送 他にどのような情報をつけることができるのか、またそれを言葉や文にしたらどうなるかを考える。
発表し合い、発想の違いなどを楽しむ。また、さらに付け加えることがあれば教え合う。

WS: 言葉を見つける

III. 同じような例を考える(20分)

- **日常生活の中にある同じような例を考える**
 - 友だち同士の会話をふり返り、同様の例を考える。
 - 家庭での会話をふり返り、同様の例を考える。
 - 単語のみを発する場合でも、イントネーションや表情で伝わるが変わることに気づく。
- 受 表情やイントネーションを言葉に直すにはどのように表現したらいいか考える。

WS: 発信者の言いたいことを考える

OP. 自分が話し手となった場合を考える

- **受け手との関係や、場面による違いを考える**
 - 送り手と受け手の関係が変わると、省略や伝わり方が変わることを知る。
 - 場面や時間が変わると、省略や伝わり方が変わることを知る。
 - 伝わっているつもりでも誤解が生じている可能性もあることに気づく。
- 受 送 正しく伝え合うだけでなく、よりよいコミュニケーションを目指す気持ちをもつ。

WS: まとめ